

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3668
16年7月8日(金)
・Fax 095-828-1953

職場要求を高く掲げ、 労働者の権利を守る戦いを展開する

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めどせず、均等待遇なくそう差別!

おはようございます。
梅雨明けを思わせる晴天のおかげで、季節はずれといったよい猛暑続きとなっています。局も注意を促していますが、自分を守るのには自分だけです。スポーツ飲料などを多めに取りミナラル補給すると共に、休息をこまめにとり熱中症に注意しましょう。

郵政産業労働者ユニオンは、6月30～7月2日の3日間、東京の南部労政会館で、第5回定期全国大会を開催しました。
大会には全国9地本から代議員(43人)が参加し、2015年度の活動の総括と今年度の取り組み方針について討論を行ない、活動方針を確立しました。
支部からも代議員として向井九州地本副委員長、また中執として高口支部長が参加しました。
今大会には全労連井上副

議長、全労協金沢議長を始め多くの来賓が見えられ、激励の挨拶を頂きました。



大会では、まず日巻中央執行委員長が「今大会は日本の未来を左右する大事な参議院選挙、さら

には郵政ユニオン結成から5年目という節目の大会であり、まさに歴史の岐路に立つ情勢の中で開催されるものです。2012年7月1日の結成大会宣言の中で私たちが目指す方向として、郵政関連労働者労働条件の改善、郵政事業の維持発展、協力、共同の発展と労働戦線の階級的統



一、労働者の諸権利を維持・発展させる、憲法を守り発展させることを掲げ、運動を展開してきました。この間のたまたかいで全国から寄せられるさまざまな労働相談に対し、本部・地本・支部が相談者の立場に寄り添い親身になって解決に向けた努力を行なってきました。郵政で働くすべての労働者の期待に応えるためには郵政ユニオンが今以上に、強く・大きくなることが急務です。3日間の討論を通じて、非正規社員の正社員化と均等待遇改善実現、将来に希望を持つ働き続ける職場を作るたかか方針を確立していくこと

が求められています」と委員長挨拶を述べると共に第5回定期全国大会の任務を提案されました。

次に4月の熊本地震の被災地に対して、各地本で取り組まれた支援活動が報告されるとともに、寄せられた義援金の一部が九州地本に渡されました。九州地本からは、地震に際して各地からの支援・激励に対してのお礼を述べるとともに、今後も義援金募集やボランティア活動を継続的に行なっていくと報告しました。

その後、取り組みの総括と方針に対して、各代議員から86本の発言と多くの文書発言が行なわれ、活発な討議が行なわれました。

九州地本からは、正社員登用試験の問題について
16春闘の取組と課題について
非正規社員の均等待遇改善を求めるとりくみ

「労働契約法第18条に基づき期間雇用社員の無期転換制度」提案に対して
組織強化・拡大のとりくみ

韓国郵通労との交流について
等について、九州の実態

を報告するとともに早期の改善を求める意見を発言しました。



また、同時に行われた「第4回機関紙コンクール」で、支部の機関紙「未来」が努力賞に輝きました。

写真は、左が会場の様子。東京・南部労政会館。右上が、あいさつをする日巻中央執行委員長、右下は新本部二役です。



、郵政ユニオン長崎中郵支部の海水浴です。

7月24日(日)、朝8時半大波止ターミナル集合。8時50分の船で大波止から伊王島へ行きます。参加費は千円です。